

# 2025（令和7）年度 第1回八尾市外国人市民会議【会議録概要】

日時：2025年10月17日（金） 午後7時から午後8時30分まで

場所：市役所本館7階 701会議室

出席委員：桑名 恵、瀬戸 徐 映里奈、ジェレミー カールソン、ダーリントン ティカス イブラヒム、菅原 洪杰、レー ティ ホン ニュン、李 昌宰、三宅 良実、朴 洋幸、王 翠珍、山原 義則（敬称略）

事務局（人権政策課）：的場部長、寺島次長兼課長、阪田課長補佐、富田係長

オブザーバー（八尾市国際交流センタースタッフ）：能勢 靖子

## 1. 開会

## 2. 委嘱状交付

## 3. 委員自己紹介

## 4. 座長・副座長選出

桑名委員を座長に選出。瀬戸 徐委員を副座長に選出。

## 5. 会議の公開について

八尾市外国人市民会議について、会議、会議資料及び会議録の原則公開を決定。

## 6. 会議の進め方について

資料3について事務局より説明。毎年2回開催。

八尾市多文化共生推進計画の進捗管理を行うほか、市の取り組み事業について意見交換を行う。

## 7. 八尾市の外国人市民の現状

資料4について事務局より説明。

＜質問など＞

- ・韓国・朝鮮籍の数が減っている原因は何か。  
⇒（事務局）八尾市全体の人口が減少しているのと同様、少子高齢化によるものである。  
⇒（委員）帰化や子どもの日本国籍取得も減少の原因である。
- ・近年、中国人の経営者が増えてきているように感じているが、この資料に含まれていないのか。  
⇒（事務局）増加しているとは言っても数は少ないので、この資料では「その他」の中に含まれている。
- ・二重国籍の人たちはカウントされていないのか。  
⇒（事務局）日本籍と外国籍のどちらでカウントされているか確認しておく。

## 8. 八尾市多文化共生推進計画2024年度実績（基本目標3）の報告について

資料5及び第2次八尾市多文化共生推進計画について事務局より説明。

#### <質問など>

- ・「No. 113 町会への加入促進」について、進めることはできているのか。  
⇒ (事務局) 全体的に加入数は減っているが、多言語で加入案内チラシを作成しており、加入してくれる外国人の方もいる。
- ・「No.90 多言語対応できる相談窓口の周知」で、DV相談のうち、外国人からの相談件数等は把握しているのか。この取組みの評価を「A」としている根拠は何か。  
⇒ (事務局) 相談者の国籍は把握していない。相談件数ではなく、チラシやホームページ、SNS等で広く周知できていることに対しての評価としている。
- ・「No.88 インターネット上での差別に対する取り組み」の評価が「B」の理由は何があるのか。  
⇒ (事務局) この取組みは、外国人に対する人権侵害だけではなく、インターネット上のすべての人権侵害に対する取組みとなっている。現在の法制度等では、表現の自由との兼ね合いもあり、書き込みの削除に至るプロセスが複雑で時間を要している。この問題に対しては、国も対策を検討している状況である。

#### 9. 意見交換 テーマ『地域で外国人市民と日本人市民が交流する機会をつくる』

資料6について事務局より説明。また、八尾市国際交流センターの実施事業や取組み状況について同センタースタッフより説明。

#### <意見交換>

- ・ハイキングや農作業等、体を動かしながら会話を楽しめるものがよい。特に農作業は、種まきから収穫まで、何度も集まる必要があるので、関係がつくりやすい。
- ・言語を一方的に教えてもらうだけでなく、お互いに学びあえるものにすればよい。
- ・新しいイベントを企画しなくとも、すでにある地域の運動会や清掃活動、防災訓練などへの参加を促す仕組みづくりに努めるのがよい。
- ・出張所や公園などの身近なところで、日本人と外国人が触れ合う機会があればよい。
- ・外国人にイベントを企画してもらい、それを自治会や国際交流センターが支援するはどうか。
- ・八尾市主催で多文化を紹介しあうイベントを企画すればよいのではないか。
- ・小学校では外国にルーツをもつこどもたちを学習面や生活面で支援するため「国際教室」を実施しているが、その中には外国にルーツのあるこどもと学校が参加しており、日本人のこどもが関わっていない。交流を目的と考えるのであれば、参加者を広げる工夫が必要である。
- ・近隣住民とつながりができるここと、情報が入ってくることから、外国人の方にとって、町会へ加入してもらうメリットは大きいと思う。
- ・料理教室や食を通じた交流は効果的であると思う。
- ・今日の説明を聞くまで、国際交流センターで食を通じた交流を行っていることを知らなかった。とてもよい取り組みだと思うので、もっと広報すればよいのではないか。
- ・放課後児童室では、外国ルーツのこどもが増えているが、多言語を話せる支援員はいない。放課後児童室で交流プログラムを実施できるのではないか。
- ・八尾市には留学生がたくさんいるので、交流会等に参加してもらえるように働きかけなければならないと思う。

## 10. その他

次回は 2026 年 2 月頃に実施予定。

## 11. 閉会